

[成果情報名]果実袋「特選南水二重袋特大」による「南水」の日焼け軽減効果

[要約]日本なし「南水」に果実袋「特選南水二重袋特大」を被袋することにより、果実袋「特選南水袋特大」に比べて日焼けを軽減できる。果重、糖度、硬度等は同程度であるが、果色・地色が薄く色調が異なり「南水」用カラーチャートは利用できない。

[キーワード]日本なし、南水、果実袋、日焼け、果実品質

[研究所名]長野県南信農業試験場 栽培部

[代表連絡先]電話 0265-35-2240

[区分]関東東海北陸農業・果樹

[背景・ねらい]

「南水」は黒斑病の防除や日焼け防止のため、果実袋「特選南水袋特大」（一重袋）が利用されている（平成15年度長野県普及技術）。しかし、近年の高温では、被袋しても品質低下を招くような日焼けが発生している。こうした気象に対しても日焼けの軽減を図るために果実袋「特選南水二重袋特大」が開発された。その日焼け軽減効果と果実品質への影響を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 果実袋「特選南水二重袋特大」は、果実袋「特選南水袋特大」よりも「南水」の日焼けを軽減できる。慣行の袋かけと同時期（満開後 50～60 日後）に被袋し、日焼け果の発生は半分以下に抑えられる（図1）。
2. 収穫果実は、果重、糖度、硬度は果実袋「特選南水袋特大」と同程度である（表1）。しかし、果色・地色が薄く色調が異なる果実となるため「南水」用カラーチャートは利用できない（図2）。
3. 「南水」の変形果（条溝果、くぼみ果、ゆず肌類似症状果）の発生に影響は認められない（データ省略）。
4. 参考事項

商品名：特選南水二重袋特大 製造：小林製袋産業株式会社

仕様：縦189mm×横165mm 外薄手純白ワックス内茶ハترون撥水二重袋 遮光率71%

価格：685円／100枚(平成24年1月時点)

[成果の活用面・留意点]

1. 果実袋「特選南水袋特大」に比べ果色・地色が薄い仕上がりとなり、「南水」用カラーチャートが利用できない。このため、普及センター等関係機関の成熟情報を参考に、糖度、硬度、食味を確認して収穫期を判断する。
2. 袋掛けに際しては一重袋よりやや厚みがあり硬く感じるため、事前に袋の口元を湿して柔らかくして使用する。また、袋内に水が貯まらないように口の止め金をしっかり締めて、袋底の水抜き穴は下向きにする。
3. 「二十世紀」用の大袋と同様に袋底中央に破線があるので、破袋や除袋に利用する。

[具体的データ]

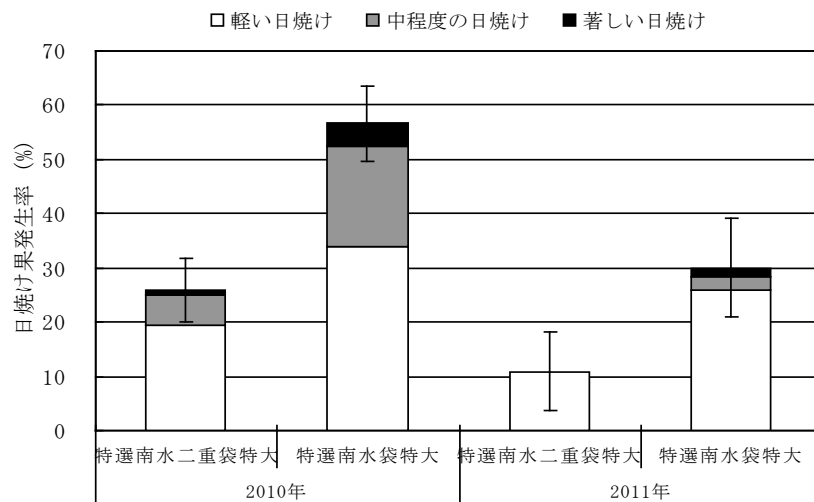


図1 果実袋「特選南水二重袋特大」による「南水」の日焼け発生への影響 (長野県南信農試)

注)「特選南水二重袋特大」:縦189mm×横165mm、外薄手純白ワックス内茶ハトロン撥水二重袋、遮光率71%

「特選南水特大」:縦189mm×横165mm、純白紙内茶印刷ワックス一重袋、遮光率49.2~53.5%

2010年:6月9日に特選南水特大と特選南水二重袋特大を被袋

収穫:9月29日 調査果実:1区50果(2主枝)3反復

2011年:6月13日に特選南水特大を掛け、8月8日に特選南水二重袋特大へ掛け替え

収穫:9月28日 調査果実:1区40果(1樹)3反復

表1 果実袋「特選南水二重袋特大」による「南水」の果実品質に及ぼす影響(長野南信農試)

試験年度	処理区	果重(g)	果色(c.c)	硬度(lb)	糖度(%)	酸度(pH)
2010年	特選南水二重袋特大	421	—	5.5	15.4	5.34
	特選南水袋特大(対照)	418	2.5	5.3	15.4	5.33
2011年	特選南水二重袋特大	433	—	5.0	14.4	5.32
	特選南水袋特大(対照)	427	2.5	5.1	14.3	5.32

注)図1と同様

果色:「特選南水二重袋特大」を被袋した果実は「南水」用カラーチャートと対応しないため果色データは無し



図2 日本なし「南水」の果実袋別の収穫果実
(2011年、長野南信農試)

(今川昌平)

[その他]

研究課題名:果樹の品種選定と高品質省力栽培技術

予算区分:県単(素材開発)

研究期間:2010~2011年度

研究担当者:今川昌平、小野剛史、小仁所邦彦